

Finnish-Swedish Ice Class Rules に規定される
水中所要主機出力算定のための推進性能試験

【Finnish-Swedish Ice Class Rules とは】

- フィンランド及びスウェーデンが定める冬季バルト海航行船舶のための要件規則です。
- 対応する氷の厳しさによりアイスクラス IA Super、IA、IB、IC、II、III にクラス分けされています。
- 耐氷船規則のデファクトスタンダードの一つであり、船級協会の耐氷船規則（NK 鋼船規則 I 編等）に準用されています。
- こうしたクラス（アイスクラス）は北極海航行のためにも必要となることがあります。

【所要主機出力の算定とは】

- 船が氷に囲まれて立ち往生しないために、最低搭載すべき主機出力の規定があります。
- 通常はルール中の算式で算出しますが、氷海水槽試験による推定値でも認めることができます。

【Finnish-Swedish Ice Class Rules で規定される試験手法とは】

- 氷が小さく砕かれた氷片で満たされた水路（Brash Ice Channel）で試験を行います。
- 試験では、この水路内を 5knot で進むために必要な主機出力を求めます。
- アイスクラスにより、試験に用いる氷（Brash Ice）の厚さに規定があります。



左図：冬季バルト海における Brash Ice Channel

右図：氷海水槽で再現した Brash Ice Channel